

飲食業

回答企業19企業

概況

～業況判断D I 値 大幅改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比42.1ポイント上昇の36.8と大幅改善、前回調査予想値(31.6)も上回る結果となった。項目別では、売上・受注で36.8ポイント上昇の26.3、売上数量も47.4ポイント上昇の31.6、利益でも26.4ポイント上昇の5.3と各項目で改善した。

さくら祭りやゴールデンウィークの影響大きく売上は増加した。仕入価格、給水光熱費等の経費増加により利益は減少傾向。

来期の見通し

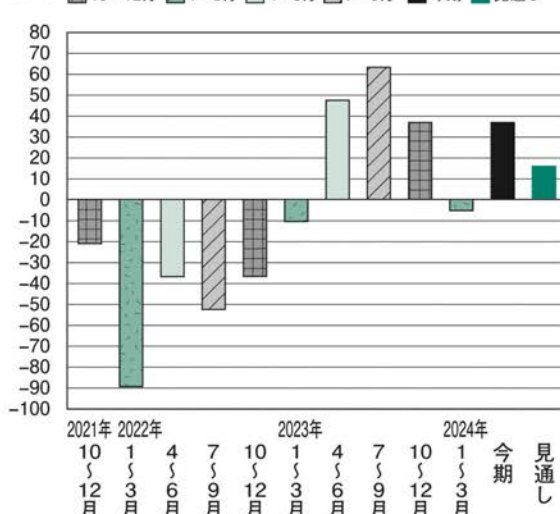
～総合的業況判断では悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比21.0ポイント低下の15.8と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で15.8ポイント低下の10.5、売上数量も21.1ポイント低下の10.5、利益でも5.3ポイント低下の0.0と全項目でやや悪化の見通しとなった。

ねぶた祭りや、お盆の帰省による期待感大きいものの、「材料費」「給水光熱費」が高止まりしており利益確保が課題となっている。

業況判断D I 値の推移



不動産業

回答企業9企業

概況

～業況判断D I 値 改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比11.1ポイント上昇の▲11.1と改善、前回調査予想値(▲11.1)と同様の結果となった。

項目別では、売上・受注で33.3ポイント上昇の0.0、売上数量は22.2ポイント上昇の▲11.1、利益でも33.3ポイント上昇の11.1と改善となった。

物件の高騰により利幅も縮小しているが、管理業務などは例年並みに推移し、大きな変化はなかった様子。

来期の見通し

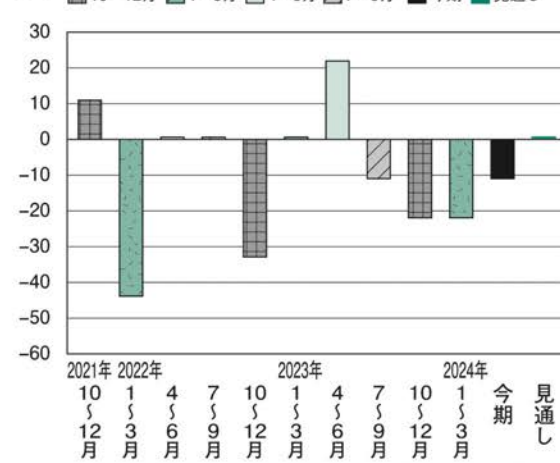
～総合的業況 横ばいの見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比11.1ポイント上昇の0.0とやや改善の見通しである。項目別では売上・受注で11.1ポイント上昇の11.1、売上数量が横ばいの▲11.1、利益でも横ばい11.1の見通しとなった。

来期も物件価格は高騰が続く見通しであり、業況は横ばいを見込んでいる。

業況判断D I 値の推移



調査要領

- 調査時期 2024年6月下旬
- 調査地域 当金庫営業区域7市町村(弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、大鰐町、藤崎町、田舎館村)
- 調査方法 上記地域内290社から当金庫営業店の調査員による聞き取り調査。
- 分析方法 各質問事項で、変化なしとした回答部分を除いて、「増加(上昇)」 「やや増加(やや上昇)」 したとする回答と、「減少(下降)」 「やや減少(やや下降)」 したとする回答の構成比との差(判断D.I.)を中心に分析を行った。